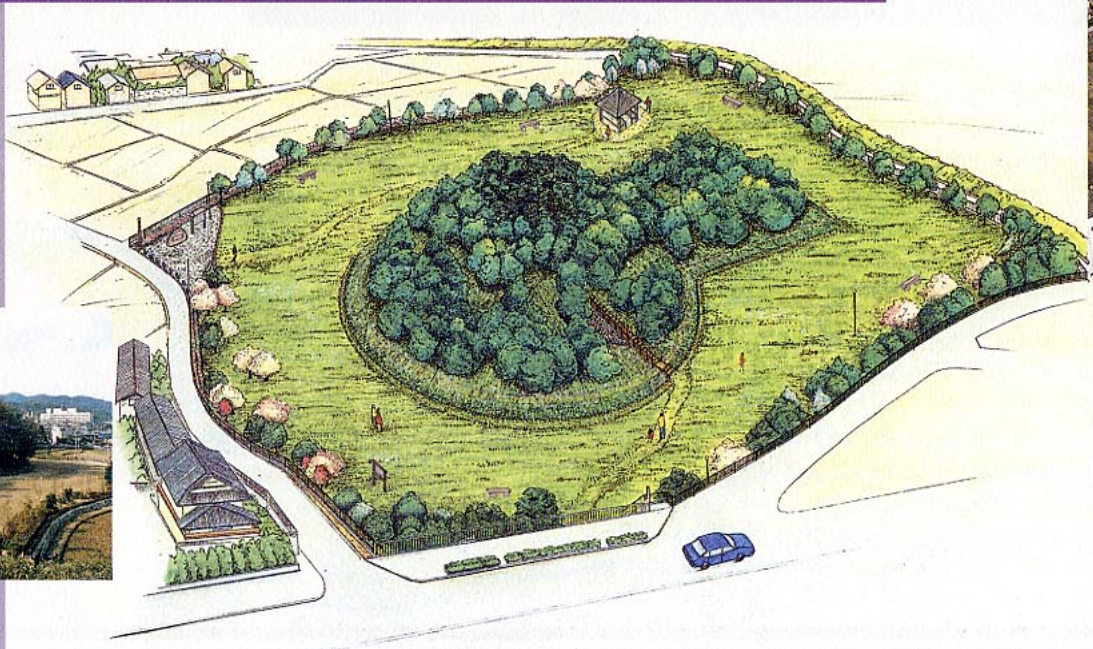


# 史跡 天皇の杜古墳



整備前



整備後

京都市文化観光局

## 周辺の文化財

### 榎原廃寺跡(国指定史跡)

八角の塔をもつ形式の寺院は七世紀中頃の寺院建築では例がなく貴重な遺構である。

(榎原内垣外町)



### 福西古墳(市登録史跡)

洛西ニュータウン造成に際し調査した古墳時代後期の群集墳のうち2基が福西史跡公園に保存された。大規模開発の中で文化財の保存と活用が図られた例である。

(大枝福西町)

### 石造物群(市指定有形文化財)

織田信長が足利義昭のため築城した旧二条城跡から地下鉄烏丸線工事に伴う発掘調査で出土。市中の石仏で石垣を築いた話は有名。361個の石造物が洛西竹林公園に陳列されている。

(大枝北福西町)



### 広見寺木造地藏菩薩坐像(市指定有形文化財)

染殿地藏とも呼ばれ、寄木造りで像高215センチメートルの巨像で、丈六地藏菩薩坐像の少数ない一例。鎌倉時代初期の作。現在は近くの地藏堂に安置している。

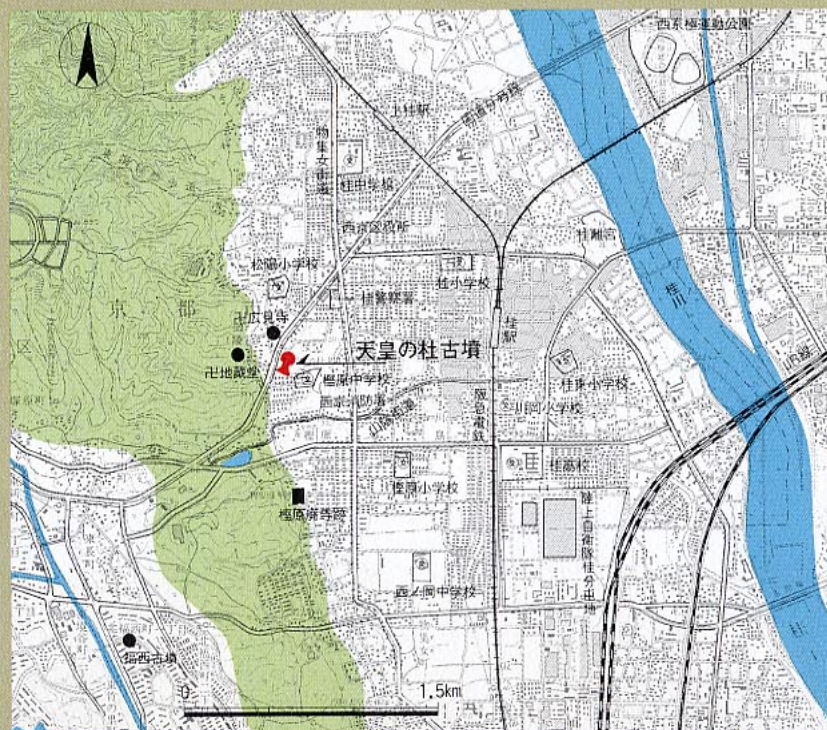
(広見寺:御陵塚/越町 地藏堂:御陵池/谷)



## 桂川右岸流域の古墳分布



## 天皇の杜古墳位置図



## 交通ごあんない

阪急電鉄 桂駅下車 徒歩20分(西方向)  
 京都市バス } 国道三ノ宮下車 停留所南側  
 京都交通バス } (駐車場はありません)

## ご利用にあたって

史跡内では次のことは禁止されています。みんなで守っていつも美しく利用してください。

- 1 自転車・バイク等の乗入れ
- 2 火気使用
- 3 ごみ捨て
- 4 野球・ゴルフ・サッカー等の球技
- 5 犬の連れ込み

075-222-4112  
 京都市文化財保護課 (075-752-0205)  
 京都市印刷物第50604号 1994/3

断ちきろう 身近な差別を 私から  
 一同和問題の解決は市民一人ひとりの課題ですー

位置図は建設省国土地理院発行1/25,000を調整使用した。

## 概要

天皇の杜古墳は、古墳時代前期(4世紀代)に築造された市内で最大級の数少ない前方後円墳で、当時桂川右岸を支配していた豪族の墳墓と推定されます。

地元では古くから「文徳天皇(平安時代の天皇)の御陵」として語り継がれ、また「御陵さん」の呼び名で畏敬と親しみをもって今日まで守られてきました。このため、保存状態がよく歴史的、学術的価値が高いことから大正11年(1922)国の史跡に指定されました。

京都市ではこの天皇の杜古墳の保存と活用を図るため、昭和56・57(1981～2)に周濠部を公有化し、国有地の墳丘部を併せて 昭和63年(1988)から保存整備事業に着手、発掘調査に続き墳丘部の整備と周濠部の緑化工事を進め、平成6年4月(1994)史跡公園として装いも新たに市民が広く文化財に親しめる場、古代史学習の場として利用していただけることになりました。



### エントランス広場

花崗岩の切石、鞍馬石を用いた碑、木造りの豪華な説明板が入口を飾る。



### あずまや

那智石を敷きつめた落ち着いた憩いの休憩舎は杜にふさわしい。



### 周囲の樹木

華やかな色彩を押しさえ古墳にマッチするよう緑を基調にした樹木でまとめている。

## 天皇の杜古墳の発掘

保存整備事業の一環として整備の基礎資料を得るため昭和63年(1988)から2年をかけて発掘調査を実施しました。墳丘部斜面には葺石が、またテラスには埴輪列がすべてに及んでいることが明らかになりました。

ただ、この古墳は台地の上に墳丘を盛り上げて造られたと推定され、周囲に濠を巡らした古墳でないことも判明しました。

〔出土品〕円筒埴輪・朝顔形埴輪



### 古墳の形態・構造 柄鏡式前方後円墳

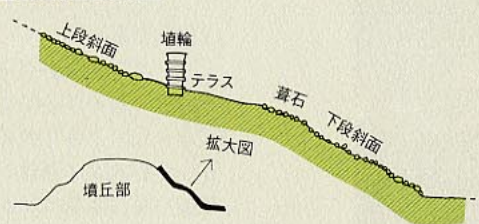
総面積 10,234㎡ (墳丘部 2,908㎡)  
周濠部 7,326㎡

墳丘部 全長 83.0メートル  
前方部の幅 33.5メートル 前方部の高さ 4.8メートル  
後円部直径 50.5メートル 後円部の高さ 7.2メートル

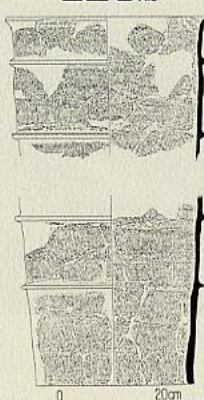


**芝地** 周濠部の6割が芝生で、巨樹が覆う墳丘部とは対照的に開放的な緑地空間を作り出している。ここには園路がなく、緑のジュウタンを思いのまま散歩できる。9基の外灯が園内を照らす。

### 墳丘部断面模式図



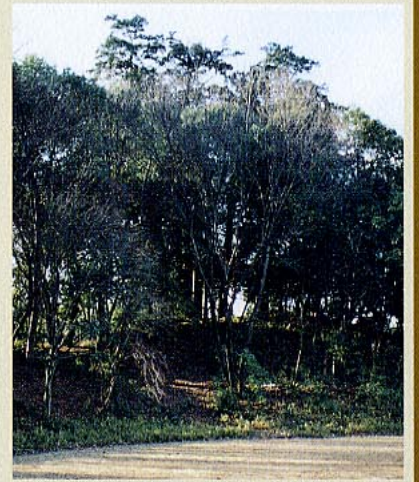
### 出土埴輪



### 発掘風景

### 葺石・埴輪列検出状況

後円部東側トレンチ上段葺石と埴輪列



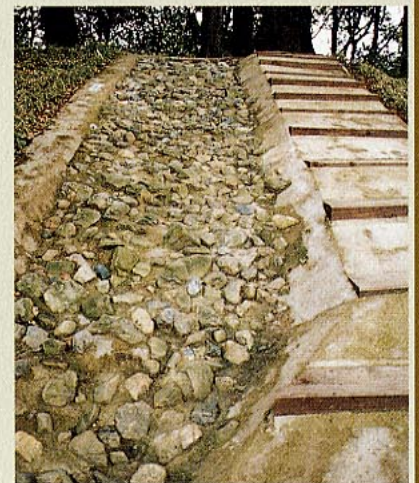
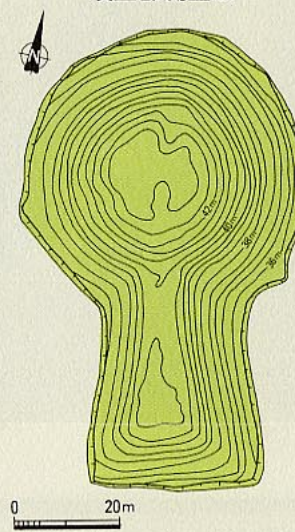
### 墳丘部



**巨樹** 後円部の頂きに一際高くそびえるヒノキの老木は古墳のシンボルともいべき存在で歴史の重みを感じさせる。

「この写真は、建設省国土地理院長の承認を得て、同院撮影の空中写真を複製したものである。(承認番号)平6近複、第50号」

### 墳丘部測量図



### 露出展示

築造当時の葺石(斜面の土砂の流亡を防ぐ)の様子がわかる露出展示。こぶし大のものが多い。



文化財の愛護につとめましょう